



水海道の魅力と地域活性化について弁論し、総文祭で優良賞を受賞した吉川諒さん＝常総市水海道亀岡町の水海道一高

吉川さんは「道路やホールを造り、駅前を整備するといったものでは、どこにでもある味気ない地方都市の焼き直し」と指摘。地域

吉川さんは昨年12月ごろ、今回のテーマの弁論を構想。何冊も本

的個性を生かすこと

や住民や若者が積極的にかかわることの重要性

を読み、市役所を訪れ、地域おこし関連の講演を取材。弁論部の先輩の案内で、高田馬場・早稲田の地域通貨の取り組みを盛り込んだりも

き直し」と指摘。地域吉川さんは今年5月

さを訴えた。

の再発見を通して伝統

の通り（敬称略）。

は強い。「みんなが自分たちの街に関心と愛情を持ち、一体となって何かをやらなければいけない」と吉川さん。

全国大会ではさまざ

まな人と出会い、良い経験になつたとい

て学びたいと考えてい

る。

◇文芸▽文芸部誌 生徒

賞 羽田美帆（下館一）

△マーチングバンド・バ

ントワーリング▽パレード

部門 グッドパレード賞

大洗

△文芸▽文芸部誌 生徒

賞 石井十次賞

△マーチングバンド・バ

ントワーリング▽パレード

部門 グッドパレード賞

の渡邊克也教諭（47）は

水海道一高・吉川さん

宮崎県で8月1日から5日まで開かれた第34回全国高校総合文化祭の弁論部門で、水海道一高（常総市水海道亀岡町）3年の吉川諒さん（17）が「水海道で生きるー地元愛」と題した弁論で優良賞（全国10位）に輝いた。

末に形になつたとい

う。

水海道には古い街並みが残り、自然も多く、大きな川もある。「手焼きせんべいの店が多い。伝統と歴史を感じさせる街」にとの思い

◇

第34回全国高校総合文化祭（宮崎大会）での本県代表の成績は次

の通り（敬称略）。

◇写真 奨励賞 本田葉

月（多賀）

野口睦実（常磐

大高）

◇放送▽朗読 審査員特

別賞 鈴木桃子（日立二）

△オーディオピクチャー

優秀賞 多賀

（水海道二）

◇文芸▽文芸部誌 生徒

賞 羽田美帆（下館一）

△マーチングバンド・バ

ントワーリング▽パレード

部門 グッドパレード賞

大洗

△文芸▽文芸部誌 生徒

賞 石井十次賞

△マーチングバンド・バ

ントワーリング▽パレード

部門 グッドパレード賞

の渡邊克也教諭（47）は

「地元愛」弁論で表現

総文祭優良賞を獲得

「言つていいことと行動を一致させなければいけない」という思いが強くある」と吉川さんを評価。総文祭では「持つている力を十分に発揮できた。今までの努力が実った」と健闘をたたえ、「さらに複眼的な広い視野を身につけて欲しい」と期待している。（富岡良一）